

## 検討対象水域（利根川水系、荒川水系）について

### 1. 水域の概要

- ・ 類型指定状況
- ・ 環境基準点位置図
- ・ 亜鉛濃度分布
- ・ 魚介類の既存調査状況
- ・ 河床材料

### 2. 各水域の状況

- ・ 水質
- ・ 水温
- ・ 河床構造（流量、河川横断工作物）
- ・ 魚介類の確認状況
- ・ 水産資源保護法に基づく保護水面

## 1. 水域の概要

### 1.1 利根川

利根川は、群馬県の大水上山（標高 1,840m）に源を発し、幾つもの川と合流したり、分派したりしたのち千葉県銚子市で太平洋に注ぐ我が国を代表する大河川である。流域は東京都、群馬県、千葉県、茨城県、栃木県、埼玉県の1都5県にまたがり、水源から河口までの支川を含めた流路延長は約 6,700km、流域面積は 16,840km<sup>2</sup> に及んでいる。

谷川橋より上流が AA 類型、下流が A 類型に指定されている。矢木沢ダム貯水池、藤原ダム貯水池は A 類型、奈良俣ダム貯水池は A 類型に指定されている。

### 1.2 鬼怒川

鬼怒川は、栃木県と群馬県界の鬼怒沼山（標高 2,040m）に源を発し、栃木県塩谷郡藤原町川治地先において男鹿川を合流し渓谷を南下し、板穴小百川、栃木県今市市付近で中禅寺湖を源に発する大谷川（だいやがわ）を合流して、茨城県守谷市大木地先で利根川に合流する利根川の一大会川である。本川の流路延長は 177km、流域面積は、栃木・茨城の両県にまたがり 1,760km<sup>2</sup> に及ぶ。

大谷川合流点より上流が AA 類型、大谷川合流点より下流が A 類型に指定されている。川治ダム貯水池は AA 類型、川俣ダム貯水池は A 類型に指定されている。

### 1.3 江戸川及び旧江戸川

江戸川は、茨城県五霞町・千葉県野田市で利根川から分かれ、茨城県・千葉県・埼玉県・東京都の境を南下して東京湾に注ぐ、流路延長約 60km、流域面積約 200km<sup>2</sup> の河川である。

現在の江戸川の流れは、利根川水系の河川改修工事に伴い江戸時代初期に誕生したもので、当時から「江戸の運河」として舟運に盛んに利用され、主要な水上交通ルートとして栄えてきた。今日のように江戸川と呼ばれるようになったのもその頃のことといわれている。江戸川に注ぐ主な支川には、上流から座生川、利根運河、今上落、坂川、真間川があり、江戸川から分かれる派川には旧江戸川がある。

栗山取水口より上流が A 類型、栗山取水口から江戸川水門までが B 類型、江戸川水門から下流及び江戸川旧川が C 類型に指定されている。

### 1.4 中川

中川は埼玉県羽生市を上流端とし、大落古利根川、新方川、元荒川、大場川など多くの河川をあつめて南下し、東京都葛飾区高砂で新中川を分派します。

さらに、中川七曲りと呼ばれる蛇行区間を経て綾瀬川と合流し、上平井で荒川と平行して流れ、江戸川区で東京湾に注ぐ流路延長約 81km、流域面積約 811km<sup>2</sup>の河川である。

中川は、全域が C 類型に指定されている。

#### 1.5 綾瀬川

綾瀬川は埼玉県桶川市を上流端とする流路延長約 47km、流域面積約 176km<sup>2</sup>の河川である。草加市で古綾瀬川、都県境の花畑地先で伝右川と毛長川を合わせ、葛飾区上平井で中川に合流している。

綾瀬川は、全域が C 類型に指定されている。

#### 1.6 渡良瀬川

渡良瀬川は、栃木県足尾町と群馬県利根村の境にある皇海山にその源を発し、幾つもの溪流を合わせながら、大間々町で山峡の地を離れ、以後桐生市、足利市の中心を南東に流下し、藤岡町で渡良瀬遊水地に注いでいる。途中の支川を合流させると流域面積 2,621km<sup>2</sup>、幹川流路延長 107km の利根川水系最大の支川である。

桐生川合流点より上流が A 類型、桐生川合流点より下流が B 類型に指定されている。草木ダム貯水池は A 類型に指定されている。

#### 1.7 神流川

神流川は、三国山の西側より多野山地へ曲がりくねりながら流れ、下久保ダムを通り、群馬県と埼玉県の県境を流れ、新町地先で烏川に注いでいる。流域面積は 407km<sup>2</sup>、流路延長は 87.4km である。

烏川より上流の全域が A 類型に指定されている。下久保ダム貯水池は A 類型に指定されている。

#### 1.8 荒川

荒川は、埼玉県秩父山地の甲武信ヶ岳（標高 2,475m）にその源を発する。山岳地帯には、中津川・滝川・大洞川等の各支川が刻む V 字谷溪谷が形成され、それらの支川を合わせながら東へと流れている。

山岳地帯を抜けると、川の勾配がゆるやかになり、水勢も弱まるため、上流から運ばれてきた砂礫が河床に堆積しているのが特徴である。

特に寄居から熊谷大橋（埼玉県熊谷市、江南町）付近までは、砂礫が堆積している上に流路が乱変しており、植松橋（埼玉県川本町）を扇頂とする扇状地形が形成されているため、寄居地点より兩岸には堤防が築かれている。

岩淵地点(東京都北区)で隅田川を分派し、荒川放水路として東京湾に注ぐ。流域面積は、2,940km<sup>2</sup>、流路延長は173.0kmである。

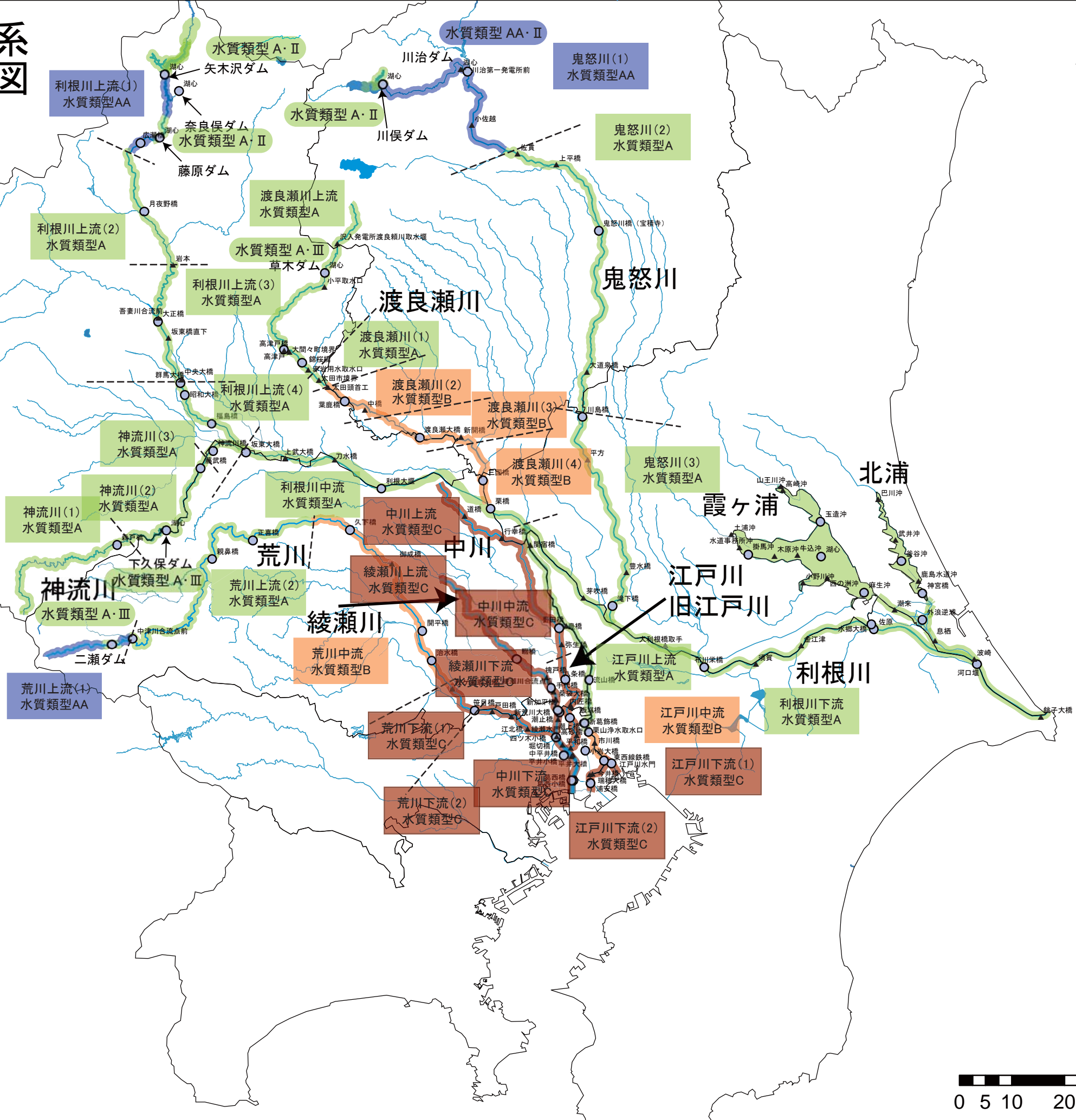
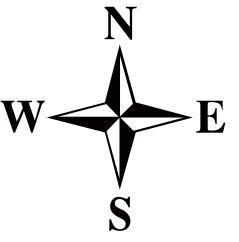
中津川合流点より上流がAA類型、中津川合流点から熊谷までがA類型、熊谷から秋が瀬取水堰までがB類型、秋が瀬取水堰から下流がC類型にしてされている。二瀬ダム貯水池はA 類型に指定されている。

#### 1.9 霞ヶ浦、北浦、常陸利根川

霞ヶ浦、北浦、常陸利根川は、茨城県南東部の低平地に位置する自然淡水湖沼である。水面積は約220km<sup>2</sup>で、琵琶湖に次いで、第2位の広さを有する。流域面積は、2,157km<sup>2</sup>である。

全域がA 類型に指定されている。

# 利根川・荒川・多摩川水系 における環境基準点位置図



水質環境基準の類型

- 河川
- AA
- A
- B
- C
- 環境基準点
- ▲ 補助点
- 本流
- - 支流

